

# 施工準備における問題解決について

□工事名 平成27年度[第27-D7324-01号](-)静浦港葦山停車場線  
防災・安全交付金(県道橋梁耐震対策)工事(松原橋橋脚補強工)

地区名:三島地区  
会社名:駿豆建設株式会社  
執筆者:落合 孝

## 1. はじめに

□工事概要 道路土工 1式、橋脚補強工 2基、仮設工 1式  
□発注者 静岡県沼津土木事務所  
□工事箇所 伊豆の国市四日町地内  
□工期 着手 平成27年8月13日 ~ 完成 平成28年5月31日

本工事は、狩野川に架かる松原橋左岸側のP1・P2橋脚の耐震補強をする工事です。  
現地踏査の際、現況が全体に草木等で覆われ、P1橋脚・P2橋脚への工事用道路の付け方、  
河川内民地があり、境界は明確になっているのか等、施工準備に時間を費やす懸念がありました。

## 2. 現場における問題点

### 問題点1

進入路として、施工箇所より200mほど下流の堤防天端より、河川内民地の間を工事用道路として使用する計画とした。その際、官民境界がよく解らず、所有者に了解を得られるかどうか不安でした。図-1は着前の河川内側を撮影したものです。草木が繁茂しており、測量も困難な状況でした。



図-1

## 問題点2

躯体工事の工程は連続作業により掴みやすいが、工事用道路施工に際し、伐採や大型土のうの設置(1778袋)にどれだけの時間を費やすか詳細な計画を必要とした。また、増水時に大型土のうが流出してしまうのではないかとという不安もあった。

図-2は仮締切の断面図です。

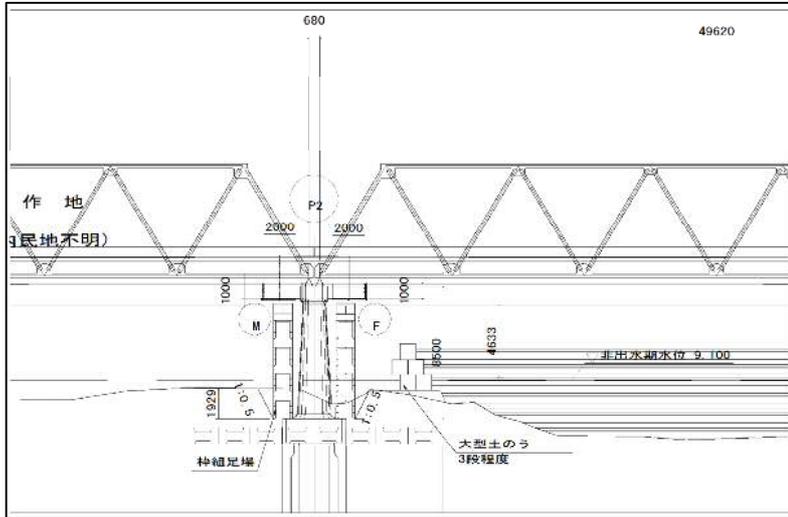


図-2

## 問題点3

既存の橋脚は図-3のように、下部から上部へ向かって段々と断面が小さくなる構造で、型枠の加工が扁平になり1箇所間違えると間違えが連鎖してしまうという懸念があった。また、上記の懸念により、場所によっては巻き立てコンクリートの厚さが確保出来ないという不安もあった。

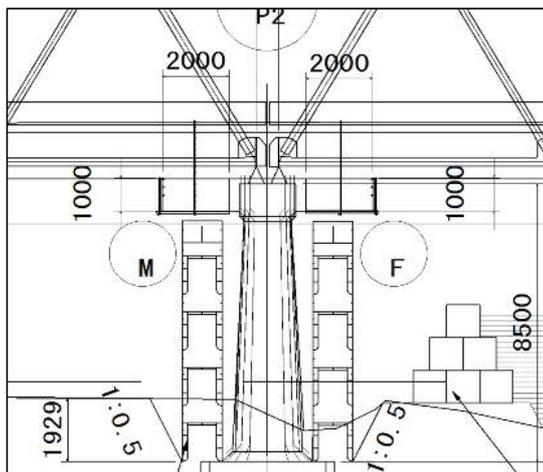


図-3

### 3. 問題点に対する対応策

#### 問題点1に対する対応策

河川内民地に関しては所有者を特定し、工事内容の説明・協力依頼について各戸へ訪問し了解を得ることができた。また、借地しなければならない箇所もあったが、快く協力願うことができた。図-4のように河川内への進入路を確保したが、河川内民地への通路を遮断してしまうので、工事用道路を一部共有し、耕作地への進入路を確保した。上記の対応で土地所有者とも上手に連携することができた。



図-4

#### 問題点2に対する対応策

まず、大型土のうの製作・据付を2班体制とし、1日に各班100袋を目標に製作・据付を行った。これにより工期の短縮につなげることができた。また、据付完了してから大型土のう同士を図-5のように1袋毎ロープで連結し、増水時に単体で流出してしまうことを防止した。とても手間の掛かる作業だったが、現場を進めていくうえで安心感がもてた。



図-5

### 問題点3に対する対応策

図-6・7のように打設ロット毎の位置で既存橋脚を測定し、各ロット毎で型枠加工図を作成して型枠大工と密に打合せを行うことで、出来形の不足もなく巻き立て厚さを確保することが出来ました。

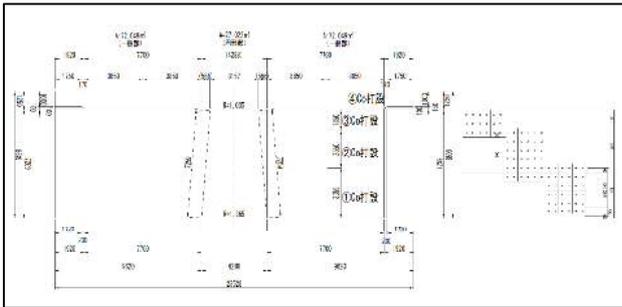


図-6

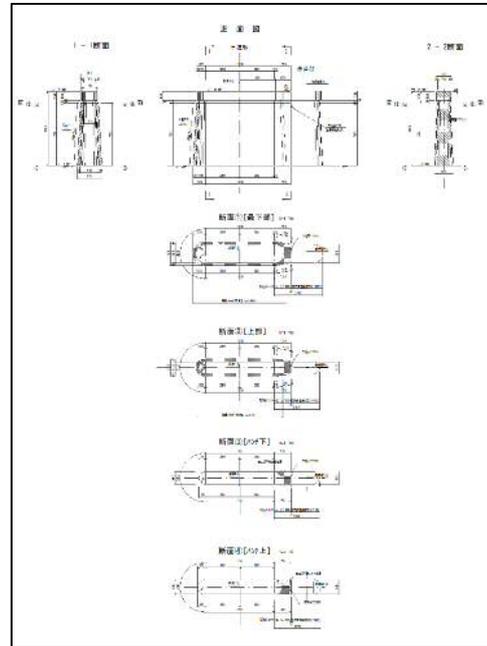


図-7

## 4. 終わりに

本工事では特化した工法などはないのですが、河川内工事であるため工期的に制約もあり、仮設を含めた準備段階での計画がスムーズに施工へ反映できたことが良かったのかと思います。

また、地元の方々や沼津土木事務所職員の方々には工事完成に向け、いろいろとご協力を頂きまことにありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、無事故無災害で完成できました。

今後も苦情や事故などが無いよう安全に努めていきたいと思ひます。